科目名	国際金融論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	小沢　康英			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
国際金融の基礎知識を学ぶことにより、現実の世界の国際金融問題を理解する。

[授業概要]
近年、先進各国における金融の制度的自由化とあいまって、国際的な金融取引の拡大、多様化が進んだ。一方、モノやサービスの取引も国境を越えて地球規模の広がりをみせている。こうした経済のグローバル化の動きを理解するには、国際収支や国際通貨制度、外国為替相場など国際金融に関する基礎知識が不可欠である。もって創造性の基礎となる国際教養の涵養を図る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]
1. 通貨の役割
2. 国際収支の見方（経常収支の動き）
3. 国際収支の見方（資本収支の動き）
4. 金本位制度における為替相場
5. 国際通貨制度の変遷（ドル本位）
6. 国際通貨制度の変遷　その2（変動制）
7. 国際通貨制度の変遷　その3（IMF体制）
8. 外国為替の機能と相場変動の要因（貿易収支要因）
9. 外国為替の機能と相場変動の要因　その2（基礎的要因）
10. 外国為替の機能と相場変動の要因　その3（金利要因）
11. 国際資本取引の動向（金融機関）
12. 国際資本取引の動向　その2（ファンド）
13. 国際金融のリスクと世界経済への影響（恐慌）
14. 国際金融のリスクと世界経済への影響　その2（ITの発展）
15. 国際通貨制度の安定への課題

[成績評価方法]
授業における自立心・対話力（30%）、レポート＜創造性＞（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート課題に関する解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	国際金融論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	小沢　康英			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：国際1-1-2／国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。
成績評価方法：授業態度(30%)、レポート(70%)で評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度(30%)、レポート(70%)で評価します。

[教科書（ISBN）]
プリントを配布する

[参考書（ISBN）]
適宜指示する